

News Letter

病気ひとくちメモ

肝炎ウイルス検査を

受けましょう

消化器科 宮本敬子

ウイルス性肝炎は、肝炎ウイルス感染によって起こる、日本で最も多い肝臓病です。肝炎を起こすウイルスは、A型、B型、C型、D型、E型の5種類があります。特に注意が必要なのはB型とC型です。B型やC型肝炎ウイルスに感染すると、慢性肝炎、肝硬変に進み、肝臓がんを発症する事があるからです。しかも慢性肝炎や肝硬変の初期ではまったく症状が出ないため、症状（黄疸、腹水、腹痛など）が出現して病院受診したときには、末期状態と言うことが時々みられます。

日本でB型C型の肝炎ウイルスに感染しながら気づいていない人は100万人以上いると推測されています。知らないうちに肝硬変や肝臓がんにまで進むのを防ぐためにも、「節目検診」や「節目外検診」などで肝炎ウイルス検査を受けることが大切です。厚生労働省は本格的な肝炎

対策に乗り出し、市町村、保健所で安い費用でB型C型ウイルス検査が受けられるようになりました。

節目検診：40、45、50、55、60、65、70歳の人、

節目外検診：40歳以上で

①過去に肝機能異常を指摘された人

②1992年以前に輸血や大きな手術を受けた人

③1994年以前にフィブリノーゲン製剤を投与された人などです。

検診でB型C型肝炎ウイルスに感染していることが判明したら、早期に肝臓専門医（当院消化器科等）の受診をお勧めします。良い治療法が開発され、早期に発見、治療開始すればB型C型肝炎も恐くありません。



部署だより

スポーツでリフレッシュ

西6病棟

私たちの病棟は、消化器科医師6名、循環器科医師4名（現在、研修医1名）、看護師25名、看護助手2名で患者様の治療、看護にあたっています。平成18年度の病棟目標の一つに「看護実践能力を高める」があります。看護実践能力レベルを高めるために部署内はもとより、院内外の研修にも参加しています。ですが勉強だけではストレスも溜まります。

ストレス解消、お互いのコミュニケーションを図るために、レクリエーション係がバレーボールを企画しています。チーム名「プリティエロース」として月数回、忙しい仕事の合間をぬって楽しく汗をながしています。参加者は医師とその家族、スタッフとその家族です。回を追うごとにチームの実力もアップ？他の病棟からも挑戦状がきているとか。。。現在、他部署との交流試合も計画中です。

スポーツをすれば体力も備わります。医師、看護師は体力が

一番です。バレーボールでリフレッシュするとともに体力をつけ、いつも明るく元気よく患者様に接していきたいと思っております！



バレーでハツラツ☆
西スタッフ



くすのき委員会だより

くすのき委員会は、患者さんへのサービスの向上を目的として活動しています。

今回の広報テーマは、「糖尿病教育入院について」です。

糖尿病教育入院について

7階病棟の糖尿病教育入院についてご紹介いたします。

入院期間は、2週間と、2泊3日の2コースがあります。指導内容として、医師による「糖尿病とは？」「検査と合併症」などの講義があります。検査は、心電図や眼科受診による眼底検査、血糖値の日内変動測定などを行います。

食事療法については、栄養士による**栄養指導**が行われ、理学療法士による**運動指導**、看護師による日常生活の注意点の話もあります。また、ビデオ学習なども行っています。薬については、薬剤師により**服薬指導**が行われます。

仕事が忙しいので…という方には、指導内容は簡略化されますが、2泊3日コース（金曜日入院↓日曜日に退院）も取り入

れています。指導を希望する方は、ぜひ、医師にご相談ください。

栄養指導について

入院1週目は、オリエンテーションに始まり、当院開催の糖尿病教室への参加、食事療法の基本（バランスのとれた食事内容についてなど）を学ぶといった日程をくんでいます。そして、バランスのとれた献立のたて方を考えます。2週目には、外食、嗜好食品の注意点について学んだ後、指導結果の確認・まとめを行います。

「糖尿病と一口に言っても、患者さんによってライフスタイル、家族構成などさまざまなので、一人一人に合わせた指導を行っています。指導は受身的なものだけでなく、患者さん自身にも、今後の食生活のあり方を考えていただいています。『体のことを知り、考えるいいきっかけになった』とおっしゃる患者さんもおられます。」【栄養士】

服薬指導について

服薬指導は、1週目に1回（複数人入院の場合は集団指導）、2週目に1回（個別指導）の計2回行います。

「治療を始めて間もない患者さんが多いので、薬について入門的な話をしています。なぜ薬を飲むのか、どんな作用があるのかなどを理解していただき、食事、運動と併せた治療を呼びかけていきます。」【薬剤師】

運動指導について

入院中1回の集団指導の中で、ストレッチ方法の実演、運動についての質問受付などを行っています。

「患者さんの中には、運動に適さない時間帯に運動されている方もいらっしゃると思います。いつでもどんな風に運動を生活の中に取り入れればよいかを、一緒に考えていきたいと思っております。」【理学療法士】

ご意見の集計

分類	回収月
	18/6月
病院運営、経営について	2
施設、療養生活について	2
待ち時間について	1
接遇について	5
感謝、お褒め	1
事務手続きについて	4
合計	15

感染対策の取り組みが 紹介されました

当院の感染対策の取り組みが、看護専門雑誌・Expert Nurse 7月号の特集記事として紹介されました。

当院の感染に対する取り組みの過程、改善の具体例、スタッフへのインタビューなどが掲載されています。一部抜粋したものを、ご紹介いたします。

●2005年2月、IC委員会は、本特集の監修者で、感染予防・管理コンサルタントとして活躍している浦野美恵子先生を招き、講演会を開きます。会場には、予想を超えた大勢の病院スタッフが詰めかけました。

…省略…

「講演会の前には、浦野先生に各病棟の感染対策の現状を見てもらいました。実はこれも感染源になります。」これはこうするとよいですね」など、具体的にアドバイスしていただいたことがとてもよかったですね」と話すのは、IC委員会の中心的存在でICD (Infection Control Doctor) である内科の川村昌史先生。

IC委員会では、それらの点を、病院設備などの物理面も考慮し、「改善できるもの」と「できないもの」に分け、できることはもう一度IC委員会で検討したうえで、現場に伝えていきました。こうして一歩ずつ、改革が進められていったのです。

●どこがどう変わった？改善の具体例

【物品の単包化】

それぞれ専用のカストに入れて運んでいた鍋子、綿球、ガゼなどが単包化され、消毒用のアルコール綿球を入れるカストも廃止になりました。

また、気管吸引チューブもディスポーザブル化に。それまでは、消毒薬の入ったビン、滅菌水の入ったビンと一緒に持って行き、吸引を行うたびにチューブを消毒・リンス(すすぎ)していましたが、それらの作業を行う必要がなくなるという事は、現場スタッフにとって驚きだったようです。

「でも、実際にディスポーザブル化してみたら、処置も簡便になり、時間も大幅に短縮されます。現場にもスムーズに受け入れられました」(松本富紀枝さん) 西5階看護長

医療費自己負担が 変わります

変わります

医療制度改革関連法の成立に伴い、平成18年10月から医療費の自己負担割合が変わります。

【窓口負担割合】

	現行	18年10月～	20年4月～
70歳以上(現役並み所得者)	2割	→ 3割	
70歳以上75歳未満	1割	→	2割
未就学者(3歳以上)	3割	→	2割

【その他の患者負担】

平成18年10月から、医療型療養病床(当院にはありません)に入院する70歳以上の入院患者は、食費と居住費が全額自己負担となります。

休診・受付時間変更の お知らせ

診療科	日付	内容
耳鼻咽喉科	8/2 (水)	午後から手術のため、受付を10:00で終了します
	9/1 (金)	休診
精神科 神経内科	8/10 (木)	休診
	9/1 (金)	
	10/6 (金)	



病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

私たちの目指す医療（基本方針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療

からだにやさしい食生活

飲みすぎ注意報！ 栄養科

ビールの美味しい季節になりました。好きな人にとっては、夏の暑い時にぐいっと飲むのは最高なのではないでしょうか。アルコールの飲めない人や子供でも、ジュースなど清涼飲料水を多く利用していませんか？

つついっつい買ってしまう、飲んでしまうことは習慣になります。「つい」が日常欠かせないものになると、健康に影響を及ぼす原因になります。

その結果、高尿酸血症や肥満、ペットボトル症候群などを引き起こすことになるのです。

生活習慣病は「薬を飲めば治る」ものではありません。その根本の原因である「習慣」を見直さなければなにも解決しないのです。

健康を維持する上では、なんでも度が過ぎることが問題です。大好きなものを我慢することはストレスになります。かといって、好きなものばかり優先して食べてはしっぺ返しが必ずあります。痛い思いをしないよう楽しみも適度がちょうどいいのかもしれないですね。

研修予定

患者様向け

8月1日 糖尿病教室

(内容) 糖尿病の薬/献立のたて方) : 興味のある方はお気軽にご参加ください

8月3日 母親学級

8月10日 母親学級

8月15日 糖尿病教室

(内容) 日常生活の注意点①
外食・嗜好品) : 興味のある方はお気軽にご参加ください

8月24日 母親学級

病院職員向け

8月4日 緩和ケア研修会

8月8日 感染対策研修

8月10日 NST委員会

8月22日 感染対策研修



6月の統計

外来患者数	15,656人
新外来患者数	2,436人
紹介患者数	349人
新入院患者数	502人
退院患者数	513人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1,291人
手術件数	193件

幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利をもっている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利をもっている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利をもっている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利をもっている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利をもっている。